

あめんぼセンターは7月で開館30年

7月20日（土）から30周年記念イベント開催

平成6年に開館した市立図書館「あめんぼセンター」。当時の「市報やながわ」によると、開館日には1日で4000人が来館するほどにぎわっていました。開館後しばらくは、全国トップクラスの貸出数を誇っていたほどです。そんなあめんぼセンターは、7月20日

（土）で開館30周年を迎えます。これを記念して、たくさんのイベントを準備中です。子どもはもちろん、大人向けのイベントもあるので、家族であめんぼセンターに遊びにきてください。詳しくは公式サイトで確認できます。
【問】市立図書館（☎74・4111）

7月の休館日

三橋を除く全館の休館日は月曜。詳しくは、開館カレンダーで確認できます。



30年前にタイムスリップ



▶期間＝7月20日（土）～8月4日（日）▶内容＝地域コーナーに開館時の広報紙や新聞記事などを掲示

わくわくおぼなし会



こぼりも登場するよ
▶日時＝7月20日（土）午後2時～▶対象＝小学生以下

からこま座人形劇



▶日時＝7月21日（日）午後2時～▶対象＝小学生以下

AIロボットが読み聞かせ



ケビーだよ みんなよろしくね
▶日時＝7月27日（土）午後2時30分～▶内容＝AIロボットによる絵本の読み聞かせなど▶対象＝小学生以下

全館で開催 読書スタンプラリー

▶期間＝7月20日（土）～8月25日（日）▶内容＝本を1冊借りるとスタンプ1個。30個集めるとプレゼント贈呈▶対象＝小学生以下



各イベントの詳しい内容は、公式サイトで確認できます。

歴代バッグ展示

▶期間＝7月20日（土）～8月4日（日）▶内容＝児童コーナー入り口に歴代の図書館バッグが勢ぞろい

えひめAI作り(要予約)

▶日時＝7月27日（土）午後2時～▶内容＝野菜づくりや掃除に役立つ発酵液「えひめAI」作り▶対象＝18歳以上▶定員＝先着30人

夏のあめんぼ映画会(入場無料)

日時	対象	上映作品
8月2日（金） 午後1時～	大人	LBJ ケネディの意志を継いだ男
8月3日（土） 午前10時30分～	大人	からたちの花
8月3日（土） 午後3時～	子ども	おしりたんてい コズミックフロント
8月4日（日） 午前10時30分～	大人	倫敦（ロンドン） ノ山本五十六
8月4日（日） 午後3時～	子ども	ざんねんな いきもの事典2

雑誌リサイクルデー



▶日時＝7月28日（日）午前10時～午後5時。午前9時から整理券配布

春の叙勲

4月29日、春の叙勲の受章者が発表されました。市内の受章者を紹介します。今回紹介する2人の他、元内閣府事務官の小宮保幸さん（血垣開、70歳）が瑞宝双光章を受章しています。



瑞宝単光章 (職業訓練功労)

筑後配管設備高等職業訓練会理事
東井上 安男さん
やすお
京町、87歳

職業訓練振興に尽力

配管技術、技能の向上と職業訓練の振興に尽力してきた東井上さん。「長年努力したかいがあった。やってきたことが認められてうれしい。支えてくれた周囲の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい」と受章を謙虚に受け止めています。大阪の設備会社に務めた後、地元のためにと、昭和58年に配管工として独立。水道配管工事から空調設備工事まで幅広い分野を手がけてきました。「水道配管工事の現場は自然が相手。思いどおりにいかないことや苦労も多かったけど、設計どおりに目標が達成できたときはうれしかったね」と話します。平成19年から筑後配管設備高等職業訓練会の理事を務め、同会が運営する職業訓練校の発展に大きく貢献。そんな功績が評価され、平成30年に福岡県知事表彰、令和4年には厚生労働大臣表彰を受章しました。学生への指導で心がけていることを尋ねると「忍耐力。学生たちの意見聞きながら指導に当たってきた。最近は受講生が減ってきたね」と話す東井上さん。最後に「長年、指導を続けてこれたのは支えてくれた亡き妻のおかげ。妻も生きていれば、一緒に喜んでくれたはず。これからも声がかかる限り後進の育成を続け、地域で活躍できる人材をひとりでも多く輩出したい」と今後の展望を力強く話してくれました。



瑞宝単光章 (消防功労)

元市消防団長
瀧上 省治さん
しょうじ
高畑、64歳

先頭に立ち市民の安全を守る

40年間、消防団員として市民の生命と財産を守ってきた瀧上さん。受章を知ったときの感想を尋ねると、「受章できると思っていなかったから本当に驚いたよ」と控えめな笑顔で教えてくれました。瀧上さんが市消防団16分団に入団したのは昭和58年。放火によって発生した平成17年の三柱神社の火災では、分団長として夜遅くまで消火活動の陣頭指揮を執りました。「火の勢いがすさまじかった」と瀧上さんが話すのとおり、神社の池の水が空になるまで放水しても火が消えなかったそうです。平成24年の九州北部豪雨では、中山地区で泥土やがれきの搬出作業を分団長として先導。「藤棚そばの水路にドラム缶や泥がたまっていて、毎日夜遅くまでの作業は大変だった。付いてきてくれた団員には感謝しかない」と当時を振り返ります。その後、平成26年に副団長、令和2年から5年まで団長を歴任しました。「いざ火事になると、団員は早く火を消すことに頭がいっぱいになりがち。自分の命を守れないことには他人の生命財産は守れないので、一呼吸おいて冷静に行動してほしい」と後輩へエールを送る瀧上さん。最後に「今まで迷惑かけてきた分、家族に恩返ししないとね」と照れながら話してくれました。